

(様式2)

「鹿嶋市教育大綱」(案)に対するご意見の概要とそれに対する鹿嶋市の考え方

	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	小冊子ほどのページ数だが、それでも目次がほしい。また「はじめに」に過半(3.5/7ページ)を費やしているのに「おわりに」または「まとめ」といった締めがない。体裁も考慮したい。	ありがとうございます。目次につきましてはご意見を参考に、加えさせていただきます。 また、大綱は、本市教育の根本となるおおまかな方針を定めているものであり、具体的な施策や事業については、教育振興基本計画において定めるという区別をしています。 本市教育の方針は、大綱で終わるものではなく、振興計画へとつなげる意味もありますので、結びについては、ご意見として伺います。
2	内容のほとんどは「教育」に終始しており、副題にある「学術」についてはほぼ記述がなく、「文化振興」についても乏しい。教育が柱であるにしても、看板と内容が一致していない感を受ける。	大綱は、本市教育の根本となる方針を定めているものであり、具体的な施策や事業については、教育振興基本計画において定めるという区別をしています。 ご意見のとおり、「学術」と「文化振興」についての記述が少ないですが、学術については基本方針1、文化振興については基本方針5に含むものとし、推進に向けてしっかり取り組みます。
3	P.1「1」(1)「人財」を別掲で説明しているのはよい。2ページの「SDGs」も同様。	ありがとうございます。参考とさせていただきます。
4	同(2)技術革新を「DX」とカッコ書きしているが、それでよいのか疑問なしとしない。また、Digital Transformationの略であることも明記した方がベターではないか。	ご意見を参考に、説明を加えさせていただきます。
5	同「Society5.0」や「ICT」については、「人財」と同様の方法で説明した方がよいのではないか。	ご意見を参考に、説明を加えさせていただきます。
6	同後段の「また」以降であるが、「社会状況に柔軟に対応すること」と「第四次鹿嶋市総合計画」との関係がわからない。さらに第四次総合計画がスタートすること、「多様性を理解し共に生きる」「共に学び成長しながら生きる」ひとづくりを基本政策に位置付けることとの相互関係も同様である。言葉が足りないのではないか。説明がほしい。	ご意見を参考に、説明を加えさせていただきます。
7	同最終行に「基本政策に位置付けることとしております」とあるが、「基本政策」とは何か?別途、この大綱に基づいて策定されるものなのか。それとも一般的な概念として記述しているのだろうか。	ご意見にあります「基本政策」とは、「第四次鹿嶋市総合計画」の「基本政策」を指しています。ご意見を参考に、わかりやすい表現に修正させていただきます。
8	同(3):「すべての市民」と「教育」が結びつかない。(2)では「子どもたちの」と記している	大綱は、こどもから大人まで、すべての市民に対する「教育」の方針をまとめています。

	のに、(3) でいきなり「すべての市民」が出てくることに違和感を覚える。	ご意見を参考に、誤解を招かないような表現に修正させていただきます。
9	同3行目の「ひと」は誰を想定しているのだろうか。「子どもたち」なのか「すべての市民」なのか。それとも概念化・普遍化して表記しているのか。	「すべての市民」を指しています。ご意見を参考に、誤解を招かないような表現に修正させていただきます。
10	P.1 最終行～P.2「共育」の項に「SDGs」を挿入したことは評価できる。可能ならば、「SDGs」を主語とする一項を設けるなど、もっと重視した扱いにしてもよいように思う。	ご意見として伺います。
11	P.2「郷育」という当て字と定義された活動には共感を覚え、趣旨に賛同する。	ありがとうございます。参考とさせていただきます。
12	P.3 2つの枠の「共育とは」と「郷育とは」であるが、ともに前段で文末を「共育（郷育）という。」と文語調で断言した記述になっているが、後段の文末は「願うものです。」と口語調で願望的に書かれている。前段の「という。」を「といたします。」または「と定義します。」などと改めたらいかがか。	ご意見のとおり、適切な表現に修正させていただきます。
13	P.3 「共育とは」の枠内の図だが、中央にある「ひと」が気になる。P.1 (3) で指摘しているが、あまりにも抽象化し過ぎていないか？「市民」とか、せめて文中にある「すべてのひと」とするなど一考がほしい。	ご意見として伺います。
14	P.4 (4) 2行目の「総合教育会議」とは何か？説明がほしい。	ご意見を参考に、説明を加えさせていただきます。
15	P.4 (4) 図中にある「教育振興基本計画」は「教育大綱」とどのような相互関係になるのか、説明がほしい	ご意見を参考に、説明を加えさせていただきます。
16	P.4 「2」すばらしい基本理念だと評価できる。しかし、すでに耳にしたことがあるようなフレーズのようにも思われる。もし前回と変えていないのであれば、その旨を表記するべきではないのか。また、「教育の基本理念」とあるが、冒頭にも指摘したが「学術」と「文化振興」の基本理念の記述が見当たらない。	ありがとうございます。 現行大綱の基本理念は「地域が育て 地域で育ち 地域を創る 鹿嶋っ子」です。今回新たに「未来を拓く」という文言を入れ、より視野を広げて生きてほしいという思いを込めました。また、「未来を拓く」ひとつづくりには、「学術」と「文化振興」も欠かすことはできないと考えておりますので、「学術」と「文化振興」の基本理念も「未来を拓く」が担っているものとしています。
17	P.5～7「3 基本方針」だが、7つの方針のいずれもすばらしい。これらが実践され、その成果が得られたらならば、世界に伍する「鹿嶋っ子」が数多く生まれることだろう。期待したい。	ありがとうございます。実践に向けて、市としても全力で取り組んでまいります。
18	P.5「2」視点は申し分ないが、教育の質向上の核心は「教員の質」ではないだろうか。その意味から ICT 機器の前に教職員をもってきてほしい。	ご意見として伺います。

	物より人が教育の本旨だろう。	
19	P. 6「4」掲げられていることはまったくその通りであり実現を期待するが、特にこの「4」は「言うは易く行うは難し」ではないだろうか。お題目が立派でも内実が伴わないと絵に描いた餅になりかねない。心して取り組む必要がある。	ご意見のとおりです。実践に向けて、市としても全力で取り組んでまいります。
20	P. 6「5」同感であり、賛同する。関連して希望を2つ。1つは「歴史資料館」の建設である。鹿島神宮を中心とする鹿嶋の長い歴史を知ることにより、鹿島開発の事績を後世に伝えることも今を生きる市民の責務ではないだろうか。2つは「鹿島郡家」の再建である。あれほどの規模の郡家跡を発掘だけで済ますのはもったいない。是非とも往時の役所などを再建して可視化し、広く周知してほしい。鹿嶋っ子にとってだけでなく、一般市民にとっても貴重な「郷育」の場となり、さらには他地域からの誘客の場ともなろう。資金面での困難を伴うが、市民はもちろん広く内外の賛同者を募って実現したいものだ。	ありがとうございます。歴史資料館につきましては、「基本方針5郷育の推進と芸術の振興」の中に記載のある「・地域の歴史、文化遺産を保存、公開する施設の整備と活用」が指しており、現在、「宮中地区賑わい創出事業」として令和6年4月開館予定で整備を進めております。 「鹿島郡家」の再建につきましても、令和2年度に史跡鹿島神宮境内附郡家跡整備基本計画を策定し、今後令和8年度から基本設計等を進め、歴史公園として活用できるよう取り組んでいます。
21	P. 6「6」基本的に疑義はないが、「アントラズ」が欠落していないか。極論かもしれないが、スポーツ活動にかかわらず、鹿嶋からアトラズを抜かしたらもはや鹿嶋市の意味すら失われてしまうのではないか。年代を問わずアントラズを軸に据えたスポーツ活動の推進であるべきだろう。	大綱は、本市教育の根本となるおおまかな方針を定めているものですので、ご意見として伺います。 実際にはすでに、アントラズとは、食育や学校訪問など教育分野でも連携を図っておりますので、今後も充実させてまいります。
22	P. 7「7」教育と福祉の連携は必須だろうが、行政だけが担う課題ではないのではないか。広くNPOなどはもとより、個人でも教育OBだけでなく現役当時のキャリアを活かした支援（サポート）のできる人材が、市内には数多く散在しているのではないか。これらの団体や個人を有効に活用しない手はない。	ご意見として伺います。
23	P. 1「1」(1)の1行目：「組織」と「及び」の間が1字分空欄になっている。	適切な表現に修正させていただきます。
24	同(3)2行目の「重要性は」は「重要性が」が相当ではないか。また、2行目までと3から4行目との結びつきがしっくりしない。「増しており」を「増しております。」で切った方がベターではないか。	適切な表現に修正させていただきます。
25	同(3)6行目以降、3行にわたって行間が1行分空いている。	適切な表現に修正させていただきます。
26	P. 2の5行目以降にも、行間が空いている箇所がある。	適切な表現に修正させていただきます。
27	P. 5「3」の「1」下段の2つ目が「・主体的・対	ご意見として伺います。

	話的」と「・」が2つ並んでおり、気に障る。また3つ目の「・」の「体」は「身体」が相応ではないか。	
28	P.6「3」の「6」2～3行目、「～のため」と「スポーツに～」は、文章が継続しているのに段落が替わり、1字分下がって新たな書き出しのようになっている。	適切な表現に修正させていただきます。

修正した内容（※修正した場合のみ）

	修正前	修正後
1	<p>【P1 1はじめに（2）策定の背景】</p> <p>本市を取り巻く環境ですが、人口減少、少子高齢化が進む中、技術革新（DX）によって経済成長と持続可能性の両立を図る Society5.0 への変革期であるという社会状況に加え、教育分野においても、ICT 機器を活用した新たな学びのスタイルの普及など、急速なデジタル化が進んでおり、子どもたちの10年先、20年先の社会は予想できない状況であると言えます。</p> <p>また、本市まちづくりの基本的な姿勢についても社会状況に柔軟に対応すべく、令和4年度に「第四次鹿嶋市総合計画」がスタートすることから、「多様性を理解し共に生きる」「共に学び成長しながら生きる」ひとつづくりを基本政策に位置付けることとしております。</p>	<p>【P1 1はじめに（2）策定の背景】</p> <p>本市を取り巻く環境については、人口減少、少子高齢化が進む中、※DXによって経済成長と持続可能性の両立を図る※Society5.0 への変革期であるという社会状況に加え、学校教育においても、※ICT 機器を活用した新たな学びのスタイルの普及など急速なデジタル化が進んでおり、10年先、20年先の社会は予想できない状況であると言えます。</p> <p>このような社会状況に柔軟に対応すべく、新たに令和4年度からスタートする「第四次鹿嶋市総合計画」の中で、教育分野については、「多様性を理解し共に生きる」「共に学び成長しながら生きる」というひとつづくりを基本政策として掲げることとしています。</p>
	(DX)	※DX（デジタルトランスフォーメーション）とは Digital Transformation の略語であり、デジタル技術を用いることで、生活やビジネスが変容していくこと。
	Society5.0	※Society5.0 とは、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会をいう。狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）工業社会（Society3.0）情報化社会（Society4.0）に続く、新たな社会を目指すもので、国の第5期科学技術基本計画において、目指すべき未来社会の姿として提唱された。
	ICT	※ICT とは Information and Communication Technology（情報通信技術）の略で、通信技術を活用したコミュニケーションのことをいう。
2	<p>【P4 1はじめに（4）教育大綱の実施期間】</p> <p>総合教育会議</p>	※総合教育会議とは、市長と教育委員会が、意思疎通を図り、本市教育の課題及び目指す姿を共有しながら、連携して効果的に教育行政を推進していくための会議です。

